

石見銀山遺跡とその文化的景観ガイドマップ

GINZAN Guide Map

Iwami Ginzan Silver Mine and its Cultural Landscape



TAKE
FREE



地図を片手に、さあ世界遺産を歩こう。

ようこそ

世界遺産 へ

Iwami Ginzan Silver Mine
and its Cultural Landscape

石見銀山の観光は、大森町並みエリア・銀鉱山エリア・港と港町エリア・街道・山城エリアの4つに分けられます。それぞれ当時の銀採掘により栄えた町並みや坑道、運搬に利用した街道や港町が今も色濃く残っています。町並みや遺跡を探訪しながら、また雑貨やおしゃれなカフェなどを楽しみながら、世界遺産石見銀山の魅力をゆっくりと堪能してください。



銀鉱山エリア

- SILVER MINE AREA -



江戸時代に柵の内と呼ばれ柵で厳重に囲まれていたエリア。銀を採掘した坑道はもちろんのこと、生活・流通・信仰・支配に関わる遺構・遺物が見学できます。

街道・山城エリア

- KAIYOU・YAMASHIRO AREA -



大森から、銀や鉱山石を港に運ぶために利用されていた旧街道が今も保全されています。大内や毛利、尼子の争いがあった山城遺跡が良好に残っています。

大森町並みエリア

- OMORI TOWNSCAPE AREA -



江戸時代の武家屋敷など銀山で栄えた豪商の住宅などが並び、タイムスリップした気分に。重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

P.16

Topic

ディープな
石見銀山を
知ろう

石見銀山の限定ツアーに参加 大久保間歩 一般公開 限定ツアー

大久保間歩は石見銀山最大級の間歩(坑道)跡。江戸時代と推定される縦横に走る手掘りによる坑道と、明治時代の開発で機械掘りによって坑道を拡幅した様子を見ることができます。坑内の巨大な採掘場「福石場」は圧巻です。



石見銀山遺跡と その文化的景観

4つのエリア

*世界遺産に登録された資産

「石見銀山遺跡とその文化的景観」は、環境に配慮し、自然と共生した鉱山運営を行ったことが特に評価され平成19年7月に行われた第31回世界遺産委員会で世界文化遺産に登録されました。世界遺産は14の資産で構成され、面積は529・17ヘクタール、それぞれ「銀鉱山跡と鉱山町」、「港と港町」、「街道」の3つの分野に分類されます。「銀鉱山跡と鉱山町」は、16世紀から20世紀にかけて採掘から製錬まで行われた鉱山跡と鉱山町、「港と港町」、「街道」の3つの分野に分類されます。

「銀鉱山跡と鉱山町」は、16世紀から20世紀にかけて採掘から製錬まで行われた鉱山跡を中心として、銀の生産及びこれに関連する生業に携わった人々の居住地区、これらを軍事的に守った周囲の山城跡から成ります。現在居住地区として残るのは、「大森」と「銀山」です。この区域は、江戸時代に鉱山を囲った柵の内外を区分して呼称したことにより、現在も谷のおよそ西半の地域を「銀山」地区、東半を「大森」地区と呼んで区分しています。

「街道」は、銀鉱山と港との間を結び、銀鉱石及び銀をはじめ諸物資を輸送した2本の運搬路から成ります。

「港と港町」は、銀鉱石及び銀を積み出し、銀山で必要とされる諸物資を搬入した港湾とその関連施設、搬出入に関わった人々の居住地区から成っています。



妙蓮寺

石見銀山の最盛期である江戸時代の初め、慶長15年(1609)に本妙院施上人により創建されたと伝えられています。

代官

阿久沢修理の墓
鬼子母神



西性寺

寛正6年(1465)創立と伝えられる寺院で、もとは天台宗龍泉院です。本堂の奥に建つ経蔵には左官の神様とも言われる職人松浦栄吉による鎧絵があります。



觀世音寺

江戸時代には大森代官所が銀山隆盛を祈願するための祈願寺で、本堂のほか山門と鐘楼が残されています。

案内所	喫茶
お食事	レンタサイクル
公衆電話	宿泊施設
身障者用トイレ	トイレ
無料休憩所	日用品・商店
コインロッカー	お土産・雑貨
有料施設	
非公開	
代官所関連	信仰関連
武士関連	鉱山関連
町人関連	



町並みは重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。
世界遺産の保全にご協力をお願いいたします。

●石見銀山にはゴミ箱を設置しておりません。ゴミは各自お持ち帰りください。
●「歩行中の喫煙」「吸殻・ゴミのポイ捨て」は固くお断りいたします。

石見銀山には地域住民が暮らしています。
民家や非公開の建物には立ち入らないでください。

妙蓮寺



西性寺



觀世音寺



理容館アラタ

大正末期の理容文化を残す重要な理容遺産です。



いも代官ミュージアム

(石見銀山資料館)
「さつまいも」で享保の大飢饉から人々を救った名代官戸平左衛門をメイン展示としてリニューアル。石見銀山500年の歴史が詰まった町並み鳥瞰図も見どころです。

アクセス

大森代官所跡バス停下車
世界遺産センターバス停①番より(約7分)
「石見銀山方式パーク＆ライド」利用詳細は裏表紙をご覧ください。

散策距離 約400m



城上神社

大国主命が主祭神。鏡天井に描かれた鳴き龍の真下で手を打つと不思議な音が鳴ります。



城上神社



大森町並みエリア

代官所ゾーン

大森代官所跡バス停下車

世界遺産センターバス停①番より(約7分)
「石見銀山方式パーク＆ライド」利用詳細は裏表紙をご覧ください。



いも代官ミュージアム

(石見銀山資料館)



散策におすすめ! /

レンタサイクル河村

大森の町や間歩に行くのに便利なレンタサイクル。電動アシスト付自転車も常備しているので、坂道も楽々です。

0854-89-0633



熊谷家住宅

准
理容館アラタ

石見銀山が栄えた時代の富裕な商家の暮らしぶりを今も伝えています。



西念寺

西念寺の境内は、もともと狭かつた谷の岩盤を毛利家の手振りで切り拓いたものと伝えられています。



愛宕神社

愛宕山は火伏せの神を祀る神社です。梵鐘は、隱岐郡海士町勝田山源福寺の鐘でしたが、豊臣秀吉の朝鮮出兵に際して供出され、返還のときに間違つて温泉津に運ばれたと伝えられています。



ゆう・ゆう館

温泉街の入り口に建つ和風の外観が美しい観光案内所です。1階は休憩室と観光案内やおみやげ物が販売されています。2階は歴史資料室となっています。



港の風情もステキ!



温泉津温泉 薬師湯

レトロ調で洋風建築物である薬師湯は石見銀山の玄関口として栄えた温泉津温泉の町並みのシンボルになっています。



温泉津温泉元湯 泉葉湯

発見から1300年の歴史を持つ、湯治場として由緒ある温泉。その薬効の高さから入湯客がたえることはありません。



宿泊のことなら!
お問い合わせ

0855-65-2998
(温泉津温泉旅館組合)

港と港町エリア

アクセス

ゆう・ゆう館

世界遺産センターから車で(約25分)

散策距離

約1.2km



温泉津やきものの里



日本最大級の登り窯があります。やきものの館は温泉津焼の資料館で、雑器や道具を展示する温泉津焼歴史資料展示コーナーや、焼物の歴史と作陶の工程を紹介するビデオルーム、創作体験室もあります。



石見銀山街道

龍御前神社

神社の旧本殿は竜の形をした巨岩の下に位置しており、もともとはこの巨岩自体が磐座=神の降臨する場所として崇拝された本堂は、現在も格調高く威厳を放っています。



西楽寺

N

- | | |
|---------|---------|
| 案内所 | 喫茶 |
| お食事 | レンタサイクル |
| 公衆電話 | 宿泊施設 |
| 身障者用トイレ | トイレ |
| 無料休憩所 | |
| 駐車場 | |
| コインロッカー | |
| 有料施設 | |
| 非公開 | |
| 代官所関連 | |
| 武士関連 | |
| 町人関連 | |

街道エリア



大森から、銀や鉱山石を港に運ぶために利用されていた旧街道が今も保全されており、トレッキングコースとして親しまれています。ここでは2つのコースを紹介します。

[お問い合わせ]
石見銀山ガイドの会
TEL:0854-89-0120(石見銀山公園内)
詳しくはサイトからご確認ください。

石見銀山ガイドの会 | 検索 <http://iwamiginzan-guide.jp/>



温泉津・沖泊 コース

[所要時間] 約6時間
[距離] 約14km

温泉津沖泊道は、16世紀後半にかけて賑わった銀山街道の一つです。秘められた石見銀山の歴史をたどります。



山城エリア



【お問い合わせ】
石見銀山ガイドの会
TEL:0854-89-0120(石見銀山公園内)
詳しくはサイトからご確認ください。
石見銀山ガイドの会 | 検索 <http://iwamiginzan-guide.jp/>



これが海城！ 敵船を撃退して温泉津港を守る

櫛山城跡 くしやまじょうあと

温泉津湾の湾口東突端にあたる径約300mの島に築城された典型的な海城で、鵜丸城跡と沖泊湾を挟んで対峙するように築かれています。もとは温泉氏の居城でしたが、毛利氏によって改修されたと考えられています。温泉津港の防衛のために湾口と日本海側に面するところに普請が集中しているのが特徴と言えます。



敵船の来襲を監視する

鵜丸城跡 うのまるじょうあと

温泉津湾の湾頭に向けて東側から突き出る尾根筋の先端に築城されています。毛利水軍の基地であり、石見銀山の銀の積出と銀山への物資搬入の拠点として栄えた沖泊・温泉津の警護のため毛利氏によって築かれました。また、周囲の海岸の岩場には、鼻づり岩と呼ばれる船の綱をつないだ穴を今もたくさん見ることができます。当時、毛利方の船もたくさん泊まっていたのでしょうか。

戦国時代、石見銀山をめぐって大内氏や毛利氏、尼子氏の間で激しい争いが繰り広げられました。今も城跡としてその場所に残つております。当時に思いを馳せることができます。



石見銀山が一望 敵の動きが一日瞭然

矢瀧城跡 やたきじょうあと

石見銀山を防御するための山城で、郭・塁堀・堀切などで構成されています。山吹城よりも約220m高い標高634mの山頂に築かれていることが最大の特徴と言えます。城の北側には降路坂という銀山から温泉津に向かう銀の輸送ルートがあり、東には仙ノ山や山吹城が望め、日本海まで一望できます。敵の動きを逃すことなく監視することができたのではないでしょうか。石見銀山おさえの城と言われています。



石見銀山が一望 敵の動きが一日瞭然

山吹城跡 やまぶきじょうあと

標高414mの要害山の山頂全域を使って築かれた山吹城からは銀山と集落、そして日本海の港、鞆ヶ浦への道を何にも遮られることなく眺めることができました。そのため、山吹城を支配することが銀山支配への鍵となっていました。1562年には、毛利氏が石見銀山を完全支配し、山吹城をさらに要塞化しました。



丘巻！ 岩山に築かれた山城

石見城跡 いわみじょうあと

標高153mの龍巖山の山頂に築かれた山城で、仁万平野と石見銀山を結ぶ街道沿いに位置しているため、海岸部との境界を押さえる役割があつたと考えられます。城域は狭いものの丁寧に造られています。かなり固い岩盤を削って平坦な郭をいくつも造成したり、大きな堀切が掘られています。



矢瀧城とともに銀山を守る

矢筈城跡 やはづじょうあと

標高480mの丘陵頂部に築かれた山城で、郭・土壘・石垣・堀切・塁堀などで構成されています。矢瀧城とともに要所である降路坂を左右から防衛する役割を果たしたと考えられます。

大久保間歩一般公開限定ツアー



銀を探掘した坑道を「間歩(まぶ)」と呼びますが、大久保間歩は中でも最大級のもので、初代奉行を務めた大久保長安が馬に乗り槍をもつて入ったとされます。坑内には最大規模の採掘場として、高さ20m、奥行き30m、横幅15mの巨大空間があります。江戸時代と推定される縦横に走る手掘りによる坑道と、明治時代の開発で機械掘りによって坑道を拡幅した様子を見ることができます。採掘技術の変遷を伝える貴重な遺跡とされています。

ご注意
※山を歩く時はマムシ・蜂などにご注意ください。また、ツアー参加当日、体調等整えてご参加お願いします。(砂利道等片道約750m)※ゴルフナンバー一覧・益期間は、石見銀山世界遺産センター駐車場が満席できない場合があります。特に午後のツアー参加のお客様は、お早めのご到着をお願いします。※各回30分前より受付を行います。出発20分前より世界遺産石見銀山についてガイドより説明があります。(※申込締切は旅行実施日5日前です。(催行決定のツアーで空席がある場合は、出発まで募集します)

1日80名様限定

1日4回各回20名様限定の予約制ガイド付きツアー



旅行代金

[大人]3,700円／1人
[小中学生]2,700円／1人

※小学生未満はご入場できません。

【参加料内訳】大久保間歩入坑料・石見銀山ガイド料・バス代等含む

ツアー実施日(予定日)

3月1日～11月30日の金・土・日・祝日・お盆期間(8月13・14・15日)

※ツアー参加料金は現金にて、当日石見銀山世界遺産センター内、大久保間歩ツアーテスクでお支払ください。(カード使用不可)

運行予定時間

- ①10:00～12:00(9:30集合)
- ②11:00～13:00(10:30集合)
- ③12:30～14:30(12:00集合)
- ④13:30～15:30(13:00集合)

※雨天決行で荒天のみ中止いたします。

予約方法

大久保間歩予約センター TEL:0854-89-9091
(月曜日～木曜日9:00～17:00、金・土・日・祝日9:00～16:00)

その他の予約方法については
<http://www.iwami.or.jp/ginzan/index.html>からご確認ください。

大久保間歩一般公開限定ツアー

検索

Goal

ツアー時間: 約2時間

Start

世界
石
見
銀
山
世
界
遺
産
セ
ン
タ
ー

原田駐車場 ← 坑内ガ
大久保
金生坑 ← 原田駐車場 ← 世界
石
見
銀
山
世
界
遺
産
セ
ン
タ
ー

坑内見学
約30分

服装の注意点



良い例

長袖・長ズボン・
シューズ
(スニーカー又は長靴など)



悪い例

半袖・半ズボン・
スカート・サンダル

大久保間歩坑内は、夏場でも気温が10℃位です。原田駐車場より登りの山歩きのコースになる為、足もともが悪い山道を歩ける服装(長袖・長ズボン)、履きなれた靴(シューズ)、天候により雨具(傘・レインコート)などご持参ください。大久保間歩入坑時は、手荷物の持ち込みはできません。(カメラのみ可)



鵜丸城跡 P.15

櫛山城跡 P.15

石見城跡 P.14

山吹城跡 P.14

矢筈城跡 P14

温泉津・沖泊コース P.12

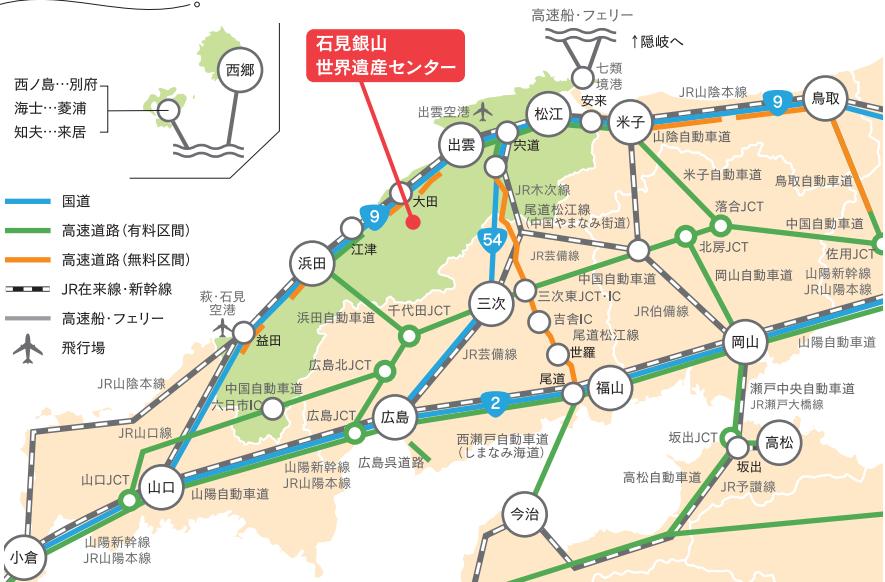
港と港町エリア P.10

鳥井町
至 松江・出雲 ↑
木田中央

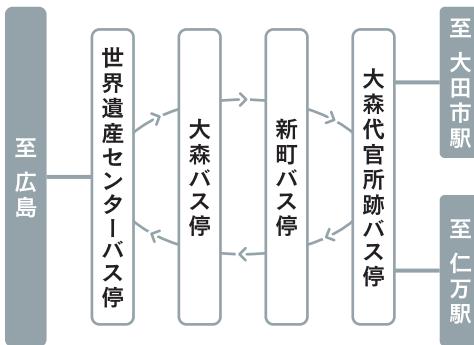
大森の町並みエリア P.04

大久保間歩一般公開限定ツアー P.16

Access Map



● 石見銀山地内 バス運行ルート



※バス時刻表は世界遺産センター内にございます。

石見銀山方式パーク&ライドに ご協力をお願いします。

石見銀山の価値は、遺跡とそれを取り巻く自然、そこに住む人の調和した姿にあります。これを人類共通の財産として皆様とともに後世に引き継いでいかなければなりません。そこで、わたくしたちは世界遺産としてふさわしいまちに、また訪問者の皆様に石見銀山の良さを十分にわかっていただくために、環境に配慮した「石見銀山方式パーク&ライド」を実施しております。

大森自治会協議会 大田市石見銀山課



石見銀山世界遺産センター

〒694-0305 島根県大田市大森町1597-3

[TEL] 0854-89-0183 [FAX] 0854-89-0089

[開館時間] 8:30～17:30

[休館日] 毎月最終火曜日・年末年始

[展示室観覧時間] 9:00～17:00(最終受付16:30)

※3月～11月は30分延長



サイトはこちらから